

県外派遣報告書

審判員名	一箭 良枝	所属	クラブ連盟	
大会名	第22回関東クラブバスケットボール選抜大会兼 関東クラブバスケットボール連盟審判講習会			
期間	平成28年8月27、28日			
会場	武蔵野総合体育館、小金井総合体育館			
スケジュール				
期 日	内 容		場 所	
8月27日(土)	実技講習		武蔵野総合体育館	
8月28日(日)	机上講習、実技講習		武蔵野総合体育館	
会議 講義 内容				
<p>『審判を担当する上での準備と常に心掛けていること』 講師:久保 裕紀 氏 この大会は、自分のレフリーを評価してもらうことができる貴重な大会である。ここに推薦され、機会を得られたことについては自信を持って欲しい。 マニュアルの「ゲーム前の話し合い」には、非常に大切なことが書かれている。当たり前のことが書かれてはいるが、自分ではやっているつもりでも、できていない審判が多い。やっているつもりと思っている自分と、実際の自分にギャップがあると、起こったことに対する対応ができない。また、メンタルの面においても、どんなゲームであっても、何かが起きた時に対応できるよう準備をしておくことで、心に余裕が生まれる。心に余裕が持てると、プレイの過程が見えてくる。メンタルも含め、自分をコントロールできていない人にゲームや判定をコントロールすることはできない。マニュアル、プレゲームなど、当たり前のことをきちんと徹底し、こだわって取り組んでほしい。その積み重ねが上級審判につながる。レフリーとしてプライドを持って、一つの判定にエネルギーを注いで取り組んでほしい。これまでも取り組んできたことかもしれないが、今まで以上に真剣に取り組んでほしい。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月27日(土)	男子 女子	
	対戦カード	六実レイダース VS	HI-PRESSURES	主審 副審
	相手審判	古谷 香 氏 (群馬県)		
ミーティング内容		講師 久保 裕紀 氏		
<p>・レフリーとしての存在感について。小柄な体型なため、より見せ方に工夫が必要である。コールした後、すぐにレポートに行ってしまうと、良い判定をしても、説得力に欠けてしまう。プレーヤー、ベンチ、観客全体に伝わる見せ方にもっとこだわりを持って欲しい。 ・2人の協力、視野分担について。同じプレイを2人で見ている時間が長い。プレイに近い審判が判定するというのではなく、どちらの審判がより現象に至るまでのストーリーを知っているかによって優先して判定する審判が決まる。プレイに近いからではなく、はじまりからの関係を理解している審判、スペースを捉えられている審判が判定するべきである。 ・判定について。1つの判定を下すことについて、もっとこだわりを持って欲しい。判定に至るまでの過程を経ずに、簡単に吹いてしまうのではなく、ルールに照らしてそのプレイがどうなったからファール・ヴァイオレーションなのかを考えた上で判定して欲しい。</p>				
全体の感想				
<p>今回の講習会において、常に言われていたことは、「当たり前のことを徹底してこだわってやる」ということであった。自分自身を振り返ると、メカニック、位置取り、判定、メンタルの面など、やっているつもりでも本当はできていないことや、まだまだ意識に甘さがある点が多いことが分かった。細かいところではあるが、徹底し、それを積み重ねることによって判定力の向上につながっていくとのお話があった。2日目の割り当てを得ることができず、悔しい結果となったが、講習会を通して「当たり前のことを徹底」し、積み重ねていくことがもっと必要だと感じた。最後に、本講習会に派遣していただきました県協会の皆様、ご指導いただきました講師の皆様、大会運営にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>				